

授業科目名	刑法概論	必修	開講年次	1	単位数	2
科目区分	専門科目／教科に関する科目（公民・社会）					
サブタイトル	刑法学の基礎を学ぶ	担当者	二本柳 誠			
講義概要	<p>【概要】 刑法総論と刑法各論の垣根を取り払い、刑法学上の基本的な問題を扱う。</p> <p>【到達目標】 具体的な事実に刑法を適用し事案を解決できるようになることが刑法を学習する際の究極の目標ではあるが、この講義での到達目標は、それよりも前の段階である、刑法総論および刑法各論の重要な論点について、なぜ、どのように見解が対立するのか、それは刑法の基本原則・原則とどのような関係があるのかを理解することに置く。</p>					
履修条件	特になし。					
教科書・参考書	<p>【教科書】曾根威彦『刑法学の基礎』（成文堂、2001年）</p> <p>【参考書】特になし。</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、刑法という法律					
2	刑法の働き、人権保障機能					
3	刑法による介入の正当化（正当化の基本原則、非犯罪化論）					
4	責任と刑罰					
5	自己決定の自由と刑法 1					
6	自己決定の自由と刑法 2					
7	行為無価値論と結果無価値論の対立					
8	犯罪論体系概論、違法阻却の一般原則					
9	正当防衛（対物防衛、偶然防衛）					
10	故意犯と過失犯					
11	不作為犯					
12	未遂犯					
13	遺棄罪、脅迫罪					
14	窃盗罪、詐欺罪、恐喝罪					
15	放火罪、公務執行妨害罪					
評価方法	学期末試験による。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	教科書、六法を持参すること。					